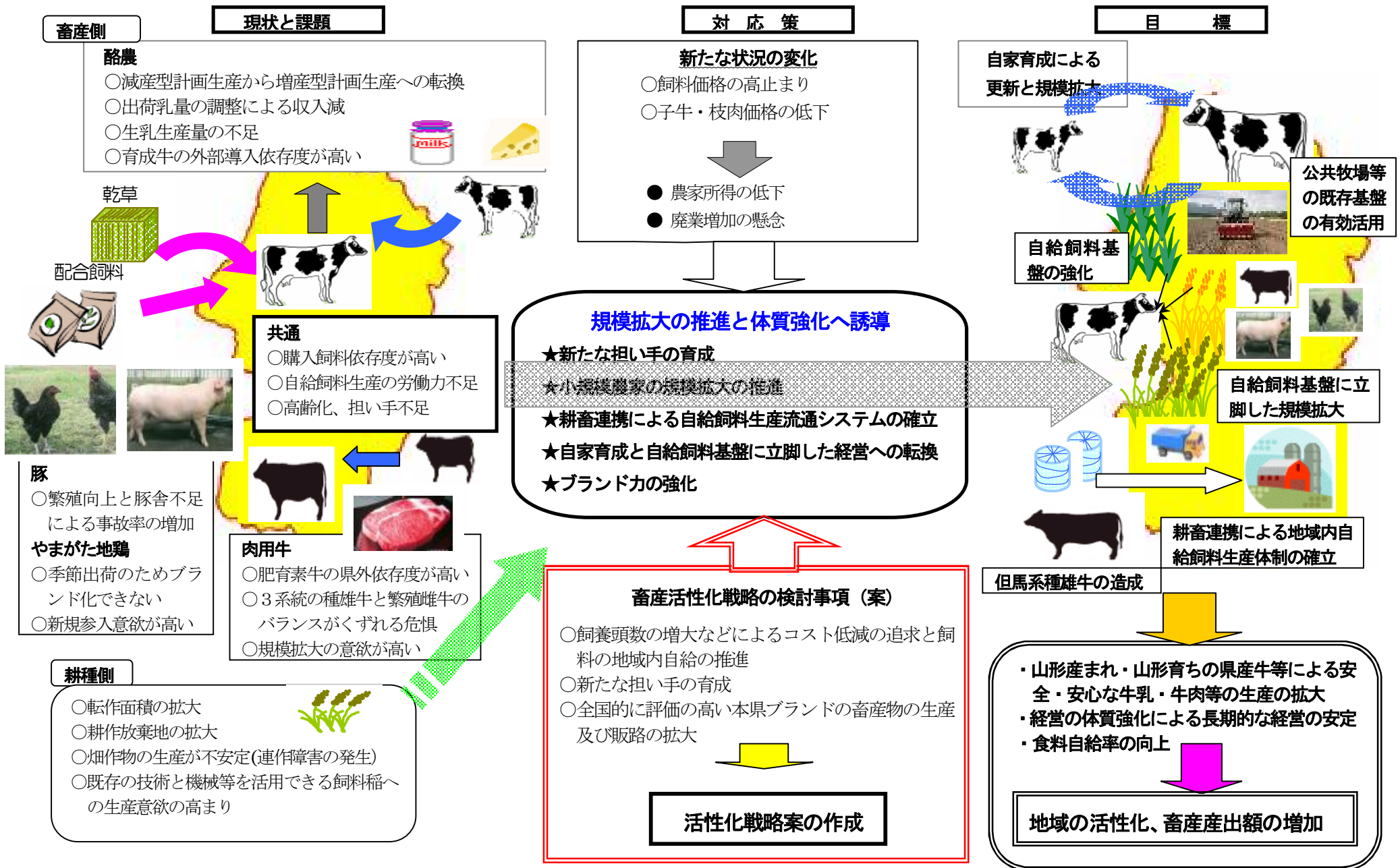


畜産活性化戦略（案）について—山形産まれ・山形育ちの県産牛等の畜産振興方向—



本県の農林水産業を元気づける戦略の方向性

全県エコエリア構想と安全・安心の取組に立脚した生産力のアップ

食づくり

農業

- 「つや姫」等県産米全体の評価向上と、飼料用米、米粉用米などの定着と拡大
- 大豆・そばの品質の向上、生産の拡大
- 山形の強みを発揮する園芸の振興
- 山形生まれ・山形育ちの畜産の振興

林業

- 県産木材の利用拡大ときのこ・山菜などの特用林産物の生産拡大

水産業

- 種苗放流による資源造成と、漁場や藻場の整備による栽培漁業の推進

新品種・新技術

- 地球温暖化等に対応した品種・技術、付加価値を高める加工技術の開発

人づくり

- 各機関と連携した担い手の育成・確保

地域づくり

- 農業生産基盤の整備（農地の面的集積）
（耕作放棄地の解消）

- 地域を支える経営体の育成・強化

県産農林水産物の需要拡大

「知ってもらう」
「買ってもらう」
「来てもらう」

山形らしさ(素材・物語性・歴史・文化)にこだわった、付加価値の高い山形ブランドの確立

総合産業化

生産・加工・流通・販売の一体化による高付加価値化

- 食農連携の推進（高付加価値化・加工）
- 農観連携の推進（グリーン・ツーリズム、ニューツーリズム等）

流通・販売・消費

まずは地元から(地産地消の推進)

- 直売所等地域内流通システムの強化
- 食育・食農教育の推進
- スローフード先進県に向けた取組み

全国へ山形のを

- 新アンテナショップの活用・機能強化
- 各種媒体の活用、運動体との連携によるプロモーション
- 新市場(中京圏以西など)の開拓

さらに世界へ(輸出の拡大)

- 新たな輸出対象国の拡大
- 輸出数量・品目の拡大

持続的な
農林水産業の再生

農林水産業を起点とする産出額の拡大
(目標 3,000億円)

県民(消費者)の
理解と支援

「山形産まれ・山形育ち」の畜産振興について

家畜 増頭戦略と品質確保

- 増頭戦略
 《乳用牛改良増殖対策事業 12,783千円》
 《やまがたの和牛増頭戦略事業 23,899千円》
 ○和牛繁殖雌牛200頭増頭運動の実施

- 品質確保
 《肉用牛改良増殖対策事業 22,605千円》
 ○新しい県産種雄牛の造成



種雄牛の造成

飼料 自給飼料生産の拡大

- 自給飼料の生産拡大支援
 《自給飼料生産対策事業 55,884千円》

- 飼料用米生産支援
 《耕畜連携飼料用作物生産対策事業 37,531千円》
 ○豚、地鶏等中小家畜の自給飼料生産流通体制の確立

- 草地開発
 《草地開発事業の一部》

自給飼料生産拡大の推進運動の実施
 [毎年190haの拡大]



H20~ 飼料生産拡大
 飼料用米生産支援

「やまがたらしい農業施策」

飼料用米日本一

H20.9月補正
 ●乳用牛の自家育成・増頭促進
 ●県産種雄牛雌子牛の県内保留促進



自家育成牛保留



家畜改良
 《11,593千円》
 ○豚改良 (ガッサンエル)
 ○肉鶏 (やまがた地鶏)



やまがた地鶏



ガッサンエル



H20~21
 ■やまがた和牛塾の開催
 《やまがたの和牛担い手育成推進事業 2,147千円》
 [やまがたらしい農業施策]

大規模担い手
 国庫事業で支援
 《草地開発事業 452,883千円》

- 「山形産まれ・山形育ち」とは
- ・山形で開発した品質の高い家畜を《←家畜改良》
 - ・山形の安心な飼料で《←自給飼料対策》
 - ・山形の確かな技術を持つ担い手が《←担い手育成支援》
 - ・数多く育て販売していくこと《←増頭・販売戦略》

畜産活性化戦略の検討事項（案）について

1. 農林水産業活性化対策ワーキンググループ（WG）（畜産）における検討事項

- (1) 飼養頭数の増大などによるコスト低減の追求と飼料の地域内自給の推進
- (2) 新たな担い手の育成
- (3) 全国的に評価の高い本県ブランドの畜産物の生産及び販路の拡大

2. 具体的な検討事項

- (1) 飼養頭数の増大などによるコスト低減の追求と飼料の地域内自給の推進
 - ① 飼養規模拡大の推進（山形産まれ山形育ちの山形牛等の生産拡大）
 - 各畜種毎の振興方策の検討
 - 小規模農家の規模拡大策の検討
 - ② 自給飼料生産及び自家育成による経営構造の転換
 - 自給飼料生産に立脚した経営基盤の強化
 - 後継牛の自家育成による経営体質の強化
- (2) 新たな担い手の育成
 - 担い手育成方策の検討
- (3) 全国的に評価の高い本県ブランドの畜産物の生産及び販路の拡大
 - 各畜種毎のブランド戦略の検討
 - 新たな販路の検討

3. 活性化戦略案の作成

- (1) 具体的活動・施策の検討
- (2) 目標値（畜産産出額、飼養頭羽数計画）の検討
- (3) 目標達成工程の検討

4. 今後のスケジュール

- (1) 第2回農林水産業活性化対策WG（畜産）会議
 - ① 時期 6月中旬
 - ② 内容
 - ア 具体的活動・施策の検討
 - イ 目標値（畜産産出額、飼養頭羽数計画）の検討
 - ウ 目標達成工程の検討
- (2) 第3回農林水産業活性化対策WG（畜産）会議
 - ① 時期 7月中旬
 - ② 内容 畜産活性化対策案の検討及び取りまとめ